

～大津緑洋高校生 2 名が職場体験に来られました～

6月9日、山口県立大津緑洋高校（大津校舎）の2年生2名が当センターへ職場体験に来られましたので、ご紹介します。

これは、大津緑洋高校の学習カリキュラム「総合的な探求の時間」の一環で行われている取り組みです。

【座 学】

○まず座学により、山口県の漁業の概要や水研センターの業務内容、本日の実習の事前学習を行いました。



○南野室長による「山口県の漁業の概要と水研センターの役割」について

○廣畑専門研究員による「漁業調査船かいせいによる海底地形調査」について



○柿並技師による「重要赤潮貝毒プランクトン」について



○國森専門研究員から「キジハタの寄生虫駆除」について

【実習】

○生物測定等の見学



○ちょうど、海洋資源グループがメジナの耳石、鱗の採取作業中だったので、見学させていただきました。

○ちなみに、耳石、鱗はメジナの年齢査定に用い、今後の資源評価・管理に利用します。



○女性職員がメジナの頭部から巧みに耳石を採取する様子を熱心に観察する生徒たち

○施設見学



○バイテク研究棟内でシロアマダイ種苗生産中の様子を見る生徒たち

※防疫の観点から関係者以外立ち入り禁止のため、施設の外から中を窺っています。



○飼育研究棟内の水槽に試験的に飼育しているウマズラハギ、ナマコ、ガンガゼ、キジハタの説明を受ける生徒たち

○キジハタの寄生虫駆除（淡水浴）



○水槽内のキジハタをタモで掬う生徒



○100リットルの水槽に水道水を満たし、キジハタ4尾を投入しました。

○キジハタの様子を見ながら、約10分間淡水浴を行いました。



○水槽内のキジハタを取り除き、排水を細目のネットで受ける生徒たち

○このネット内に溜まったものを後で顕微鏡で観察します。

○採水（赤潮モニタリング）



○柿並技師から透明度、採水・水温測定、水色の見方等の観測方法や記帳のレクチャーを受ける生徒たち



○レクチャーを受け、採水器で採水をする生徒



○水色盤（色見本）と海面の水色を見比べる生徒

○検鏡



○キジハタの淡水浴で回収した水と採水器で採水した海水を顕微鏡で観察します。

○それぞれスポイトでプレパラート上にのせます。



○淡水浴で駆除した結果は如何に？



○マハタハダムシ（単生類）が確認できました！

○右下（体後端）の固着盤と左上（体前端）の口前吸盤（1対）でキジハタの体表に強固に吸着します。



○採水した海水には、赤潮プランクトンは確認できませんでした。

○珪藻の仲間が確認されました。

【生徒さんによるインタビュー】

○最後に、生徒さんから当日指導に当たった國森、柿並両職員に対し、インタビューが行われました。

※この日、大津緑洋高校大津校舎2年生78名が、長門市内企業を中心に、各自の将来の希望に合わせて仕事の現場に出かけ、直接観察したこと、働く人へのインタビューをもとに「Discover Nagato ここにある仕事」として記事にまとめ、公開する予定とのこと。



○趣味やこの職場を選んだ理由、仕事のやりがい、苦勞、今後、取り組みたいこと等の質問がありました。



○「今後とも、山口県の水産業の発展のため、少しでも水産関係者の役に立つ研究を行っていきたい。」ときっぱり回答する柿並技師と國森専門研究員。